

1月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 15.0km~21.0km
			管轄出張所: 岡崎・安城出張所
実施日	令和 6 年 1 月 11 日	実施区間	19.0km ~21.0km (右岸)

河川の大水で倒された？野草木 渡橋の橋梁下から河川敷へ出る

年明けの比較的穏やかな11日(木)。渡橋の右岸堤防から下りて、河川敷の河原に向かいました。途中、頭上に見た巨大なコンクリートの基礎は、ものすごい迫力で、完成までの作業の大変さを物語っているようでした(①)。

橋梁下周辺の野草や樹木には矢作川の濁流にもまれた跡がくっきり残っていました(②)。



- ① 「橋梁の巨大な基礎」(上)
- ② 「増水で濁流にまみれた草木」(下)

砂浜が広がる河川敷

5分ほど歩くと、目の前に大きな砂浜が広がっていました。「海辺のような砂浜」そんな表現がぴったりの広さです(③)。これだけ広がった河川の砂浜を間近で見るのは、初めてのようです。



あちこちに「流木の芸術品」が

砂浜には、写真(④)のような「流木の芸術作品」を思わせる大木があちこちに見られました。巨大な龍を思わせるもの、大きく口を広げた大蛇など、なかなか見事な自然の造形作品です。一見の価値ありです。



- ③ 渡橋付近に大きく広がる砂浜(上)



- ④ 川が作った流木の芸術作品(上)